

(安威川) 台風 11 号による水位上昇と堆積土砂についての質問

(質問 1)

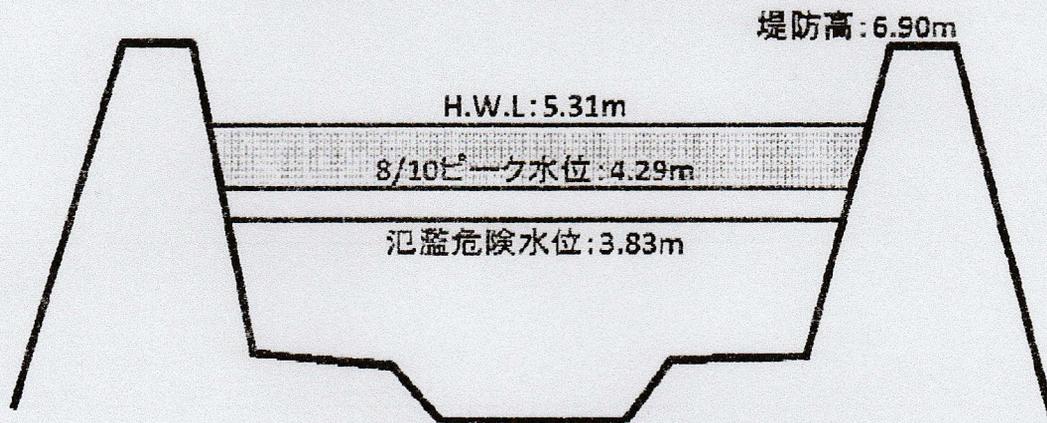
茨木土木事務所によれば、この時(8月9日、10日の台風11号)の安威川上流域(樫田・見山)の雨量は(資料1)のとおりですが、実は8月9日と10日の降雨の間に20時間ほどのほぼ無降雨の時間帯がありますので(資料2)、9日、10日それぞれの雨量としては(資料1)下段の「既往最大雨量」を大きく下回ります。この程度の雨量で氾濫危険水位を超えるようでは、今後の大雨で越水や破堤の危険もあることになりませんか。

(回答)

8月10日、安威川の千歳橋付近のピーク水位(4.29m)は、氾濫危険水位(3.83m)を超えたものの、この地点における安全に洪水を流下させることのできる計画高水位(以下、「H.W.L.」という。)は、5.81mであり、まだ1m程度の余裕があります。

この氾濫危険水位は、安威川で流下能力の低い、JR東海道線橋梁付近などがH.W.L.に達する時の千歳橋の水位を設定しています。

しかし、8月10日のJR東海道線橋梁付近では、H.W.L.に達していませんでした。?!



(質問 2)

17年前(1997年)の写真と比べましたところ、現在の安威川(千歳橋~宮島橋)の低水路における土砂堆積が大幅に増えているのは明らかですし、今後も安威川ダムの工事現場から大量の土砂が流出するでしょう。特に千歳橋から先鋒橋までの区間は堤防沿いに人家が密集しています。大阪府はこの危険な現状をどのように認識しているのでしょうか。

(質問 3)

中でも千歳橋水位観測所地点の土砂堆積は問題で、低水路のほぼ2/3は土砂で埋まっています(資料3)。これでは観測水位が高くなるのは当然です。現にこのことは台風11号の際の痕跡水位によっても明らかで、観測所直上流に落差工があるにも拘らず、その前後で水位が全く低下していないのは、この土砂堆積が原因です(資料4)。

千歳橋観測所は安威川本川における主要な観測所ですから、このような異常な状態を放置しておいて良い筈がなく、逆にもしこの土砂が除去されておれば、上記の騒がせな広報車出勤やテレビ、ケイタイの災害情報も必要無かったと思われませんが、如何でしょうか。

(回答)

大阪府では、河川に堆積した土砂を撤去するにあたっては、土砂の堆積状況だけでなく、人家が河川に隣接しているか、その箇所^の改修状況や洪水による氾濫が想定されているかなどを考慮して、優先的に土砂を撤去する箇所を決めて、順次、工事を行っております。

ご質問のありました安威川の千歳橋付近につきましても、優先的に土砂を撤去する箇所に定めており、本年度に工事を行う予定としております。

なお、工事の詳細な内容につきましては、工事を担当している炭木土木事務所河川砂防グループにお問い合わせください。

今後も、府内各河川の土砂堆積状況を丁寧に確認しながら、必要な対策を行ってまいります。